

全保協ニュース

〔協議員情報〕

全 国 保 育 協 議 会

TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

ホームページアドレス [<http://www.zenhokyo.gr.jp>]

—今号の目次—

- ・独立行政法人福祉医療機構が「平成 27 年度 保育所の経営状況について」を公表…………… 1
- ・「保育の質を高める自己評価・第三者評価セミナー～保育実践の振りかえりと第三者評価の活かし方～」開催のお知らせ…………… 2
- ・大阪府が「子ども施設と地域との共生に向けて 子ども施設環境配慮手引書」を公表
～騒音等の苦情を未然防止する対策手法等を紹介～…………… 2
- ・「保育園・認定こども園における地域貢献事業」10周年企画セミナー
「社会福祉法人だからできる！子どもの貧困へのチャレンジ」開催のお知らせ…………… 3

独立行政法人福祉医療機構が 「平成 27 年度 保育所の経営状況について」を公表

平成 29 年 1 月 13 日、独立行政法人福祉医療機構は「平成 27 年度 保育所の経営状況について」を公表しました。

福祉医療機構では、毎年度、貸付先の経営状況について調査を行っており、平成 27 年度の保育所の経営状況について分析が行われたものです。分析の対象は、開設後 1 年以上経過した認可定員数 20 人以上の認可保育所 4,214 施設です（夜間保育所および認定こども園を除く）。

以下、概要のみ抜粋いたします。詳細については別添をご参照ください。

平成 27 年度 保育所の経営状況について

- 収支状況は増収増益。サービス活動増減差額比率は対前年度 2.5 ポイント増の 7.6%となり経営状況は好転。
- 赤字施設はサービス活動収益、サービス活動費用ともに黒字施設よりも厳しい状況。とくにサービス活動収益の増加率が低い状況。
- 大都市圏の赤字施設は人件費が高いことが、地方部の赤字施設は在所児 1 人 1 月当たり収益が低いことが、赤字の主要因。
- 保育所を複数運営している法人の施設の方が単独運営の施設よりも経営状況は安定。
- 定員 60 人以下の施設は、サービス活動増減差額比率 9.5%と他の定員規模と比較しても高くなっており、経営状況は安定。

※抜粋、全保協事務局

「保育の質を高める自己評価・第三者評価セミナー ～保育実践の振りかえりと第三者評価の活かし方～」 開催のお知らせ

全国社会福祉協議会では、社会福祉事業に携わる皆さまの資質向上にむけて、標記セミナーを開催いたします。

保育所保育指針は平成30年度に改定施行を迎え、これまで以上に保育の「質」の向上に係る機運が高まる中、全国保育協議会会員の皆さまのさらなる資質向上にご活用いただくべく、周知を図るものです。

セミナーの詳細につきましては、別添の開催要綱をご参照ください。

【セミナーの内容等に関するお問い合わせ先】

社会福祉法人全国社会福祉協議会 政策企画部（^{みやうち}宮内、^{たかの}高野）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-7889 / FAX. 03-3580-5721

E-mail: z-seisaku@shakyo.or.jp

大阪府が「子ども施設と地域との共生に向けて 子ども施設環境配慮手引書」を公表 ～騒音等の苦情を未然防止する対策手法等を紹介～

平成29年1月12日、大阪府は「子ども施設と地域との共生に向けて 子ども施設環境配慮手引書」を公表しました。

近年みられる、保育所、認定こども園等の施設から出る音や送迎時の問題による地域とのトラブルを背景に、施設における騒音等の苦情を未然防止することを目的に作成されています。

手引書では、施設に寄せられた苦情等をもとに、その対策手法を紹介しており、対応が難しい「音」については、近隣への配慮や対策を効果的に行えるようにその性質についても解説しています。

手引書は、以下、大阪府のホームページからご覧いただくことができます。

大阪府ホーム > 環境・エネルギー > 生活環境保全 > 騒音・振動と私たちの暮らし >

○子ども施設と地域との共生に向けて 子ども施設環境配慮手引書

http://www.pref.osaka.lg.jp/kotsukankyo/oto/kodomo_tebiki.html

なお、手引書には以下注記がありますのでご留意ください。

※手引書で紹介する事例は、どの施設でも必ず同じ効果が期待できるものではなく、また、全ての施設が実践しなくてはならないというものでもありません。

※どのような対応策をとるかは、施設の立地環境や、地域の特徴、保育・教育方針などに応じた方法を選択することが重要です。

保育園・認定こども園における地域貢献事業 10周年企画セミナー 「社会福祉法人だからできる！子どもの貧困へのチャレンジ」 ～保育園・認定こども園における地域貢献事業のカタチ～ 開催のお知らせ

平成 29 年 2 月 22 日（水）、「「保育園・認定こども園における地域貢献事業」10 周年企画セミナー「社会福祉法人だからできる！子どもの貧困へのチャレンジ」～保育園・認定こども園における地域貢献事業のカタチ～」が、大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）で開催されます（主催：大阪府立大学教育福祉研究センター、スマイル研究会）。

社会福祉法等の一部を改正する法律では、すべての社会福祉法人に対して、地域における公益的な取組の実施主体となる責務を規定しています。

標記セミナーでは、保育園・認定こども園における地域貢献事業であるスマイルサポーターをはじめとした、大阪府における 10 年にわたる取り組みをふまえ、事業についての研究報告・事例報告及びこれからの地域貢献事業について考えることを内容としています。

セミナーのプログラム詳細及び参加申込書については、別添のチラシをご参照ください。セミナーの内容に関するお問い合わせ等は、下枠内のとおりです。

<p>【お問い合わせ先】 社会福祉法人大阪府社会福祉協議会・施設福祉部（畑中・中尾・出口） 〒542-0065 大阪府中央区中寺 1-1-54 大阪社会福祉指導センター内 TEL. 06-6762-9001 FAX. 06-6768-2426</p>
--